

## 代表質問

## 市庁舎整備は、建て替え前提ではなく様々な方法の検討を



社民・国民民主・護憲クラブ  
平山 光子 議員

市庁舎整備基本方針案の  
説明や進め方は納得できない

**問** 昨年度第4回定例会において、庁舎整備に関係した予算案と条例案の2件について、それぞれ修正または否決といった重い決断をした。これを当局は重く受け止めていると言うが、方針案の説明や進め方に納得できない。指摘されて地区公民館の市民説明会を増やすなど、市民への説明を軽視しているのでは。

**答** 指摘を受け、市民へ十分な説明を果たすべく4月から地域に入り、各団体へも打診し、地区公民館でも説明会を行っている。

**問** 耐震改修された佐賀県庁や戸畑図書館を視察したが、機能も改善され素敵に改修されている。改修は20年後に再検討が必要で、建て替えは75年使用が見込めるという試算の根拠は何か。

**答** このような考えが一般的で、本市の公共施設維持管理計画でもそう示している。

**再発言** 他市では、建て替えよりも耐震改修の方が経費を抑えられるとする事例が複数

ある。話を伺った複数の専門家も同じ事を言われる。市民説明会で、財源を心配する市民に「積算はアバウトな数字」と説明し、その試

算で将来負担は建て替えの方が少ないとして市民に判断を求めており、納得できない。

**問** 庁舎整備検討委員会の大森委員長が「委員会の答申が反映されていない」と異例の抗議をされたことは、個人的なご意見という受けとめだが、委員会の摘録では不明。議事録を議会に示してほしい。

**答** 議事録全体の公表については内部での検討が必要。

**問** 都市計画マスタープランには「駅周辺等の市の玄関口では風格とにぎわいの中にも秩序が感じられる街並み景観を保全・創出」とある。また、景観計画にも「景観資源は私たちの共有財産。宝となる景観資源の多いまちは市民の心を豊かにし、地域経済活動の活性化に寄与」とある。

市長は、なぜその資源である本館を保存することを前提に整備方法を考えないのか。



市庁舎 本館

**答** 残したいという気持ちは共通しているが、将来負担を考えて基本方針案を示した。

**再発言** 急がなければならない課題だが、本市財力の身の丈に合ったやり方をもっと検討してもらいたい。

消費税増税で市民生活は  
さらに困窮

**問** 今年10月、市民生活に大きく影響する消費税が10%に引き上げられる予定だが、市民福祉の向上を預かる首長として、市長の見解は。

**答** 持続可能な社会保障制度確立のためにも消費税の税率改定は基本的に必要と考える。

**再発言** 5%から8%に引き上げられた年度の増税分約5兆円のうち社会保障の充実に使うとされたのは5,000億円。日本の消費税は、国税収入の約3割を占め、今でも重税であり、低所得者ほど負担が大きい。市長には市民生活の立場から声を上げてほしい。

## 教職員の働き方改革

**問** 教職員の働き方改革取組指針が策定されたが、取り組みへの教育長の意気込みは。

**答** 教職員が健康で意欲と能力を最大限発揮できることと、教育の質の維持向上を目指す。PTA、地域組織、関係団体等への説明や広報紙等での周知に努め、改革を進めたい。

**再発言** 現場の声をしっかりと聞き、実効性のあるものにしてもらいたい。